

【防災センター編】

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	防災センター				
-----	--------	--	--	--	--

大分類	行政系施設	中分類	その他行政系施設	施設番号	142
-----	-------	-----	----------	------	-----

所管部課	危機管理課
------	-------

1 土地データ

所在地 (地区)	共栄586番地 (東部)	敷地面積	24,568 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	平成19年度
建物構造	RC	延床面積	1,256 m ²	経過年数	11年
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定緊急避難場所
概算更新コスト	502,400千円	法定耐用年数	50年	市民1人当たり更新コスト	8,553円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態			
	5,505人	4,622人	人	5,064人	指定管理者			
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)	支 出	内 訳		金額(千円)	
	収 入	利用料等	-		①施設維持コスト	修繕料	1,181	
		国費	6,130			火災保険料	3	
		道費	-			維持管理委託料	8,343	
		その他	-			敷地借上料	-	
		市費(一般財源)	5,252			工事請負費	-	
	合 計				11,382	その他維持費	-	
					小 計	9,527		
					②施設運営コスト	人件費	-	
						光熱水費	1,308	
				運営委託料		-		
				その他運営費		547		
				小 計	1,855			
				合 計(①+②)	11,382			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	2,248円/人		194円/人		9,062円/m ²			



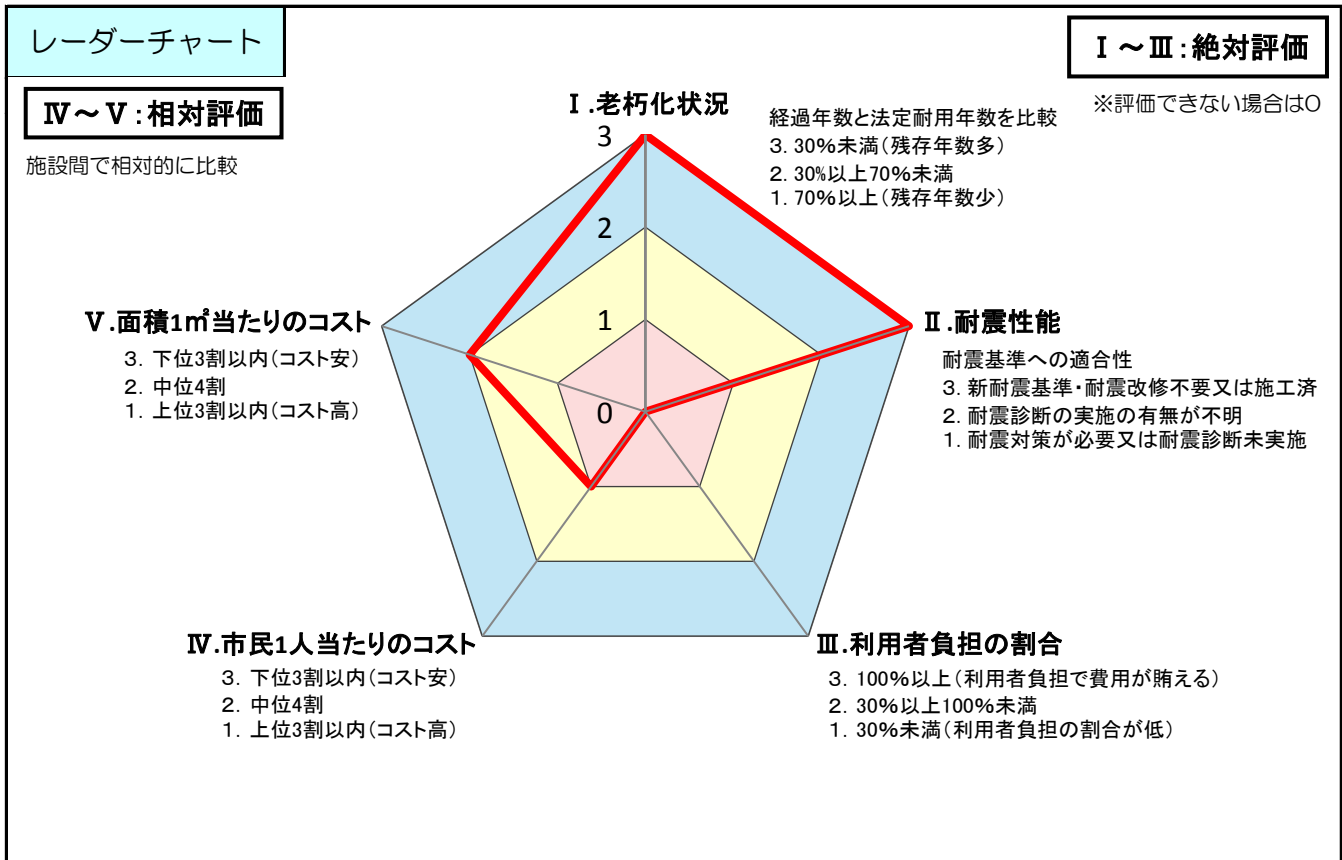
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)

5 特記事項

--

6 データ分析



レーダチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	22 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりのコスト	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	194 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	9,062 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化していないと判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担は評価できない(III)。市民一人当たりのコストが大きい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	